事業支援・仕事・技術・資格の情報ページ

不払いや融資など仕事・経営の相談は遠慮なく東京土建の各支部事務所まで。

カレッジ合同研修会

新時代への役割期待
担い手確保と育成が課題

9月11日にけんせつプラザ東京で、「東京建築カレッジ（以下、カレッジ）研修生派遣事業所と講師・指導員カレッジ生の育成・定着のための合同研修会」が開催されました。第一部で芝浦工業大学建築学部建築学科の蟹澤宏剛教授による講演と問題提起、第二部では意見交流会が行なわれ、若者の入職が少ないうえに定着率が低い建設産業の危機的状況の打開策を探りました。

参加者からの質問に丁寧に答える蟹澤教授

第一部では、全建総連が加盟する建築大工技能者等検討会による「令和3年度工務店に直接雇用されている建築大工の実態調査」の結果をもとに蟹澤宏剛教授が基調講演を行ないました。

同検討会で座長も務めている蟹澤教授は「2015年までの国勢調査のデータを分析すると、建設現場で働く技能者は1980年をピークに6割以下に減少しており、今後も減り続けることは明らかと、危機的状況にあることを指摘。特に、90万人から3分の1以下に減少している大工については、減少幅が小さくなっている技能者全体と比べて減少が収まることなく「一人負け」状態で深刻だと警鐘を鳴らします。

一番の心配は担い手の確保だと言います。そして次に、入職者の育成。3年後には入った人の半分がいなくなる中で、彼らをどうやって定着させるかが課題です。

また、今後起こっていくこととして、2023年10月から始まる消費税のインボイス制度、24年4月からの改正労働基準法の完全施行、25年施行予定の改正建築基準法の三つを挙げて、工務店大工にとって大きな問題となると説明。ただ、これらが業界に与える変化はチャンスでもあるとしたうえで「やることはいっぱいある」と新しい時代に向けて、カレッジの役割に期待を寄せる発言をいただきました。

カレッジが建築人生の始まり

第二部では、講師らによるカレッジでの授業内容や、生徒らの学習風景の報告。派遣事業所からは新人採用・育成方針やカレッジに研修生を送り出す中で、「現場では丁寧に教えられない部分を補ってくれるので助かっている」「期待していたのに突然辞められて困った」「甥っ子をカレッジへ通わせたら、がぜんやる気を出して頑張っている」など活発な意見交換が行なわれました。また、「カレッジ卒業後も継続的な教育の場を作ってほしい」と、卒業で終わりでなく、建築人生の始まりとなるようなカリキュラムを望む声も聞かれました。

この日の参加者は、研修生派遣事業所9社13人のほか講師・指導員など31人でした。

出演するカレッジ卒業生は井上さん（右端）の工房を訪ねて事前学習、打ち合わせを行ないました（9月18日、「きまま工房・木楽里」）

カレッジ公開講座

森林の恵みを暮らしに
林業家・井上淳治さんにきく

【建築カレッジ・吉川新吾記】東京建築カレッジ（以下、カレッジ）は毎年、公開講座を開催していますが、今年の第23回公開講座は埼玉県飯能市の林業家、井上淳治さんに「NPO法人 西川・森の市場」の現状と課題、国内林業再生の展望をお話いただきます。第二部では、大工、設計、施工管理、不動産の各分野で活躍する卒業生が登壇し討論を行ないます。

10月30日（日）午後1時～5時、昨年同様、今年も公開講座をオンラインで開催します。林野庁と埼玉県飯能市の後援で、参加無料です。

この夏は世界的に猛暑となりました。また、パキスタンのように記録的な大雨で国土の約3分の1が冠水した国もあります。これらの気候異変の原因の1つが地球温暖化であり、カーボンニュートラル（二酸化炭素の放出と吸収が相殺されている状態）の達成など対策が急がれます。

国土の3分の2が森林である日本では「国内林業の活性化につながる木材利用の拡大」や「居住空間において炭素を長期間にわたって貯蔵する役割を担う木造建築の発展」に期待が集まっています。

これらを受け、毎年の「林業研修」でお世話になっている林業家、井上淳治さんに講演していただくことにしました。都市生活者に向けて木の魅力を伝える活動をされている井上さんに関連業界・業者の共同の活動と今後の課題を披露してもらう一方、カレッジ卒業生の大工、設計、施工管理、不動産従事者が各々今できることを語り合います。

木造住宅建築の従事者育成に力を入れているカレッジの存在意義を浮き彫りにする講座になります。ご期待ください。視聴方法、参加登録方法は、左の二次元コードよりカレッジ公式ホームページでご確認ください。

資格講習コーナー

申込み、問合せは各支部技術担当者へ

【作業主任者】
足場11月29日～30日（火水）池袋、1万1500円
型枠支保工の組立て11月26日～27日（土日）調布支部会館、1万1500円
地山・土止め（掘削面高さが2m以上となる地山掘削と土止め支保工）10月25日～27日（火水木）池袋、1万7千円

【特別教育など】
職長・安全衛生責任者11月1日～2日（火水）1万4500円
職長・安全衛生責任者の能力向上教育（おおむね5年毎の再教育）10月26日（水）池袋、8500円
足場11月16日（水）池袋、7500円
フルハーネス11月22日（火）池袋、8千円
石綿①10月23日（日）多摩西部会館（立川市）、②10月30日（日）葛飾支部会館、③11月8日（火）池袋、④11月13日（日）杉並支部会館、4500円
自由研削砥石11月9日（水）池袋、8千円
丸のこ・熱中症11月10日（木）池袋、8千円、丸のこのみ5千円、熱中症のみ3500円、自由研削砥石と2日間セット割引1万4500円、石綿も含む3日間セット割引1万7500円
増改築相談員①11月15日（火）池袋、②23年2月7日（火）池袋、更新（23年3月更新または22年3月未更新の方）午後のみ、2万円、新規（経験10年以上）丸一日、3万円

【建設機械】
玉掛11月18日～20日（金土日）足立支部会館、2万2千円
小型移動式クレーン10月27日～29日（木金土）池袋（3日目は足立支部会館）、3万3千円
小型車両系建設機械（整地等）特別教育（機体重量3トン未満の整地・掘削機械の運転）11月11日～12日（金土）西多摩支部会館、1万5500円
小型車両系建設機械（解体）特別教育（機体重量3トン未満の解体機械の運転）11月13日（日）西多摩支部会館、1万5500円、小型車両系（整地）と3日間セット割引2万4500円

【事業所向け】
新入職者教育（法定の「雇入れ時教育」の一部と、足場特別教育・熱中症の2つの特別教育を実施）11月16日～17日（水木）池袋、1万円

無料 全建総連 仕事に役立つ オンラインセミナー

10/26 18:30 水 ～20:10

10月は木材利用促進月間

日本の森林と木材利用促進

講師 林野庁 林政部 木材産業課長 齋藤 健一さん

申込方法 オンラインセミナーはZoomで開催します

下記のURL又はQRコードから申込登録してください。
① お持ちのスマートフォンのカメラでQRコードを読み込み
② 申込ページが表示されます。必要事項を入力すると申し込み完了！
③ ウェビナーの開催案内が登録いただいたメールアドレスに送信されます
※資料送付（メール）の都合上、前日までにお申し込みください。

登録メールアドレスの間違いに注意。また携帯電話用アドレス等で返信メールが受信されないケースがあります。ご留意ください。

※YouTubeでも限定公開で配信します。URLは下記電子メールまでお問い合わせください。

主催 全国建設労働組合総連合

東京都新宿区高田馬場2-7-15 電話03-3200-6221（代表）
電子メール juutaku@zenkensoren.org
お問い合わせは【住宅対策部】まで